

展望

『黒潮本流の“蛇行”がさらに大きく南南東にずれているようです。このためか紀伊水道を北上する分枝流の勢力が弱くなっています。また、大阪湾の海面水位はかなり高い状況が続き、海水温も、淀川河口で表面水温は約18度、5m水面下で約19度、釣り上げた魚が生暖かく感じます。“蛇行”のために魚の接岸行動も低調で、エサを追う活性も低くなっているように感じます』という報告が大阪から届いています。東海地区の太平洋側では、このように顕著な動きは見受けられませんが、海の中では、秋魚から冬魚への交代が確実に進んでいるようです。“御前崎沖のヤリイカは終盤を迎え、伊勢湾のタチウオも群れが小さくなり、若狭湾のマイカも乗りが芳しくなくなる”と思われます。『最近、鳥羽沖で上がるワラサ・ブリのお腹の中は、20cmほどのタチウオの子供で一杯です』という報告も現地船長から戴きました。

ヒラメ・マダイ & ヤリイカ

遠州灘

成吉丸 (御前崎) ⇒マダイ五目 (Tel 0548-63-3466)
 福寿丸 (福田) ⇒アジ・イサキ五目・ワラサ、前半はヤリイカも (Tel 0538-58-0657)
 海豊丸 (福田) ⇒ヒラメ (泳がせ)・タチウオ・ハマチ (Tel 090-8545-5574)

漁場情報 ⇒シラス漁平年並み。 釣り対象魚では、相変わらずヒラメが好調。 <深井さん>



「福田沖のワラサ」

ヒラメ・マダイ & フグ

伊勢湾

松新丸 (片名) ⇒カサゴメバル五目・フグ・アカムツ・オニカサゴ (Tel 0569-63-0148)
 山洋丸 (鳥羽) ⇒ヒラメ (イワシの泳がせ)、ウタセマダイ・ルアー船 (ジグ) ブリ・ワラサ (Tel 0599-32-5967)
 鯛屋 (大紀錦) ⇒大アジ・マダイ・ガシラ・オコゼ・アマダイ (Tel 0598-73-2009)

漁業情報⇒イセエビ漁順調。 青物が目立つ マダイは小型が多い <城山さん>



「伊良湖のフグ」

ワラサ・ヒラマサ & メダイ

越前若狭湾

アラタニ釣具 (鷹巣) ⇒ワラサ・ヒラマサ・マダイ (Tel 0776-85-1604)
 豊漁丸 (色浜) ⇒マイカ・タルイカ・ヒラメ (Tel 0770-26-1160)
 川口渡船 (大島) ⇒ハマチ・マダイ・メダイ (Tel 0770-77-0435)
 米春丸 (美浜) ⇒底物五目、カワハギ五目 (Tel 0770-32-1066)



「色浜沖のタルイカ」